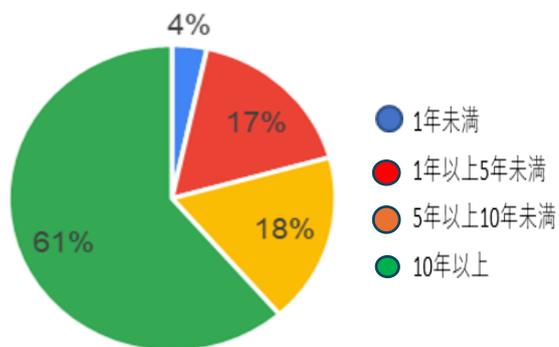


自己評価ガイドラインについて実態調査の結果報告

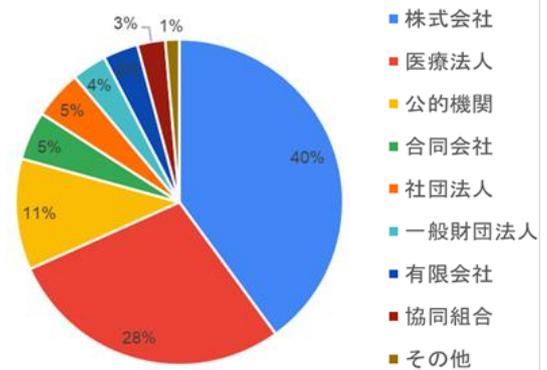
愛知県訪問看護ステーション協議会では、令和6年度の重点事業として訪問看護事業所の自己評価についての啓発活動に取り組みました。今回業務委員会では自己評価に関する課題を明確にするため、会員事業所の実施状況を調査しましたので、結果を報告します。調査にご協力いただきました会員事業所の方にお礼申し上げます。

1. 訪問看護ステーションの背景

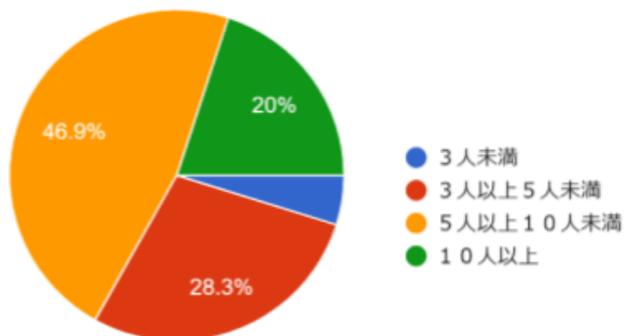
1) 開設時からの経過年数 (n=145)



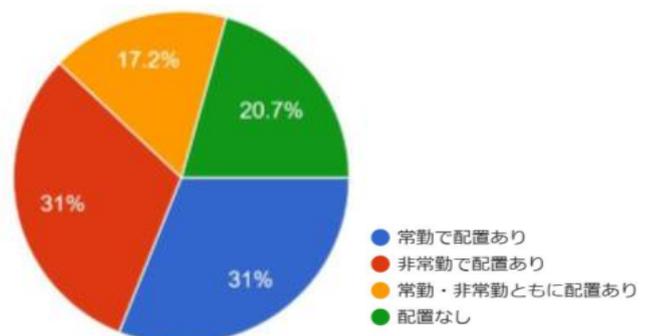
2) 設置主体について (n=145)



3) 職員数：看護師（常勤換算数）
(n=145)

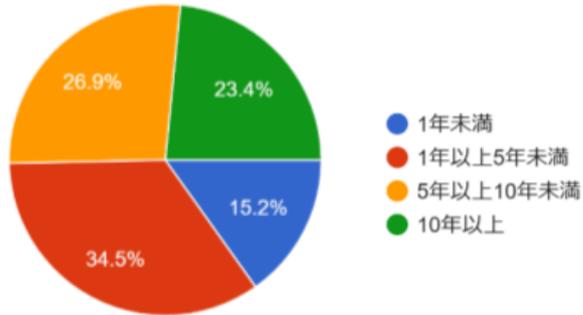


4) その他の職員・コメディカル・事務等
(n=145)

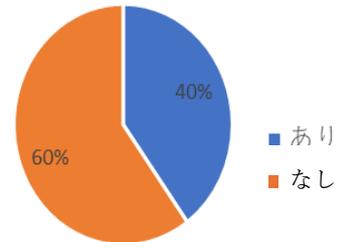


2. 管理者の背景

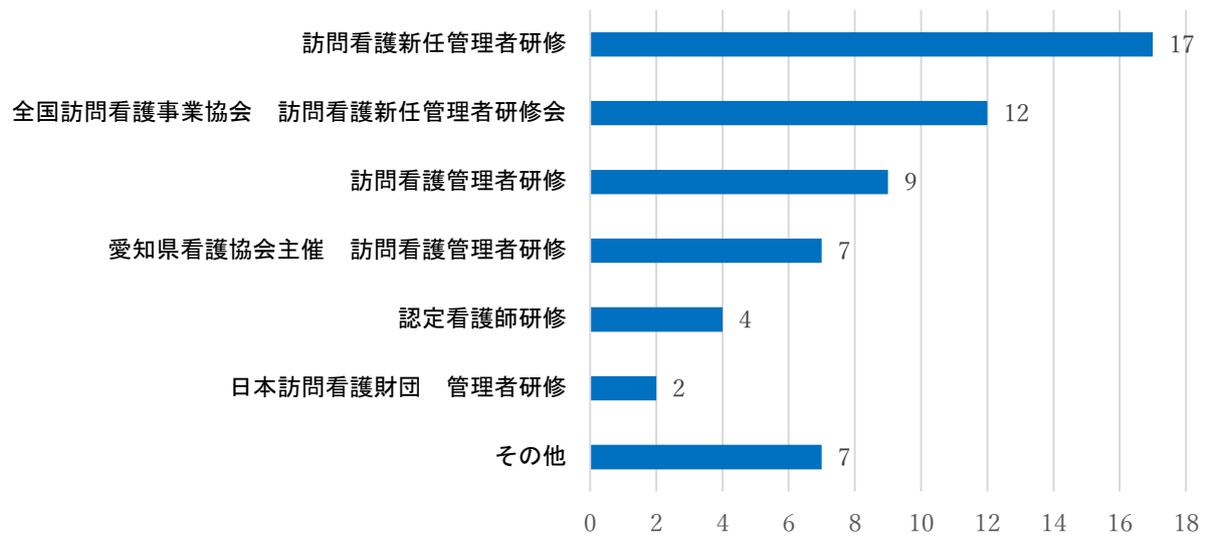
1) 管理者の経験年数 (n=145)



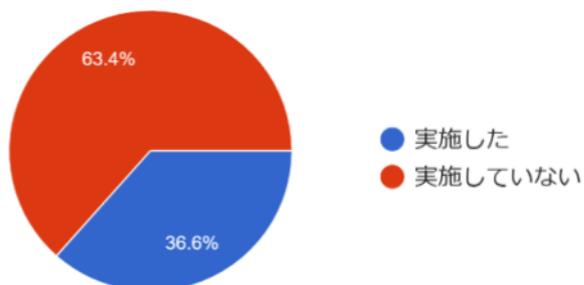
2) 訪問看護管理者養成研修等の受講の有無 (n=145)



3) 今までに受講した訪問看護管理者研修 (n=58)

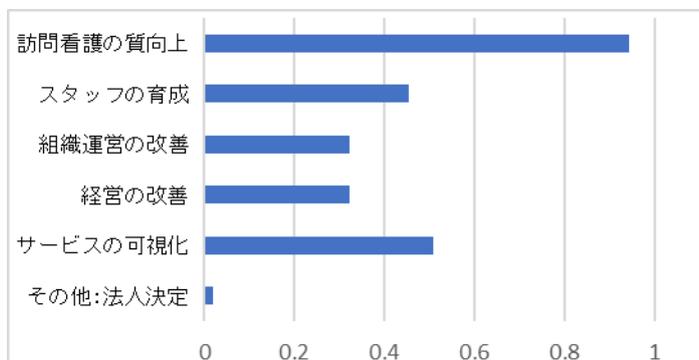


3. 事業所自己評価の実施状況 (n=145)

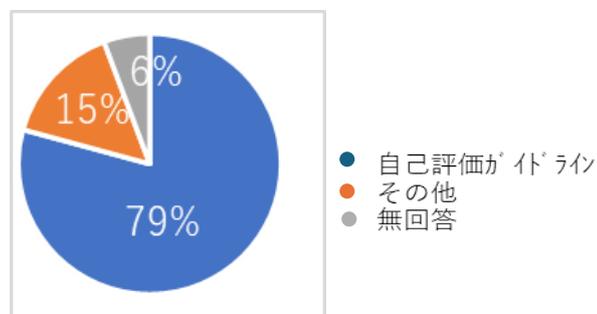


4. 事業所自己評価について

1) 事業所自己評価の目的 (n=53)

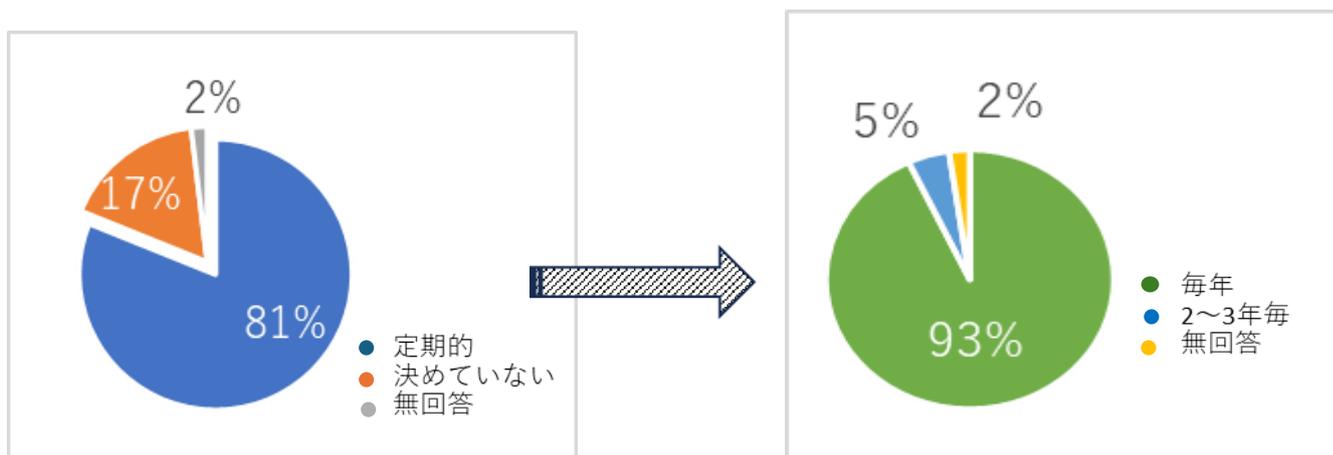


2) 事業所自己評価に用いたツール (n=53)

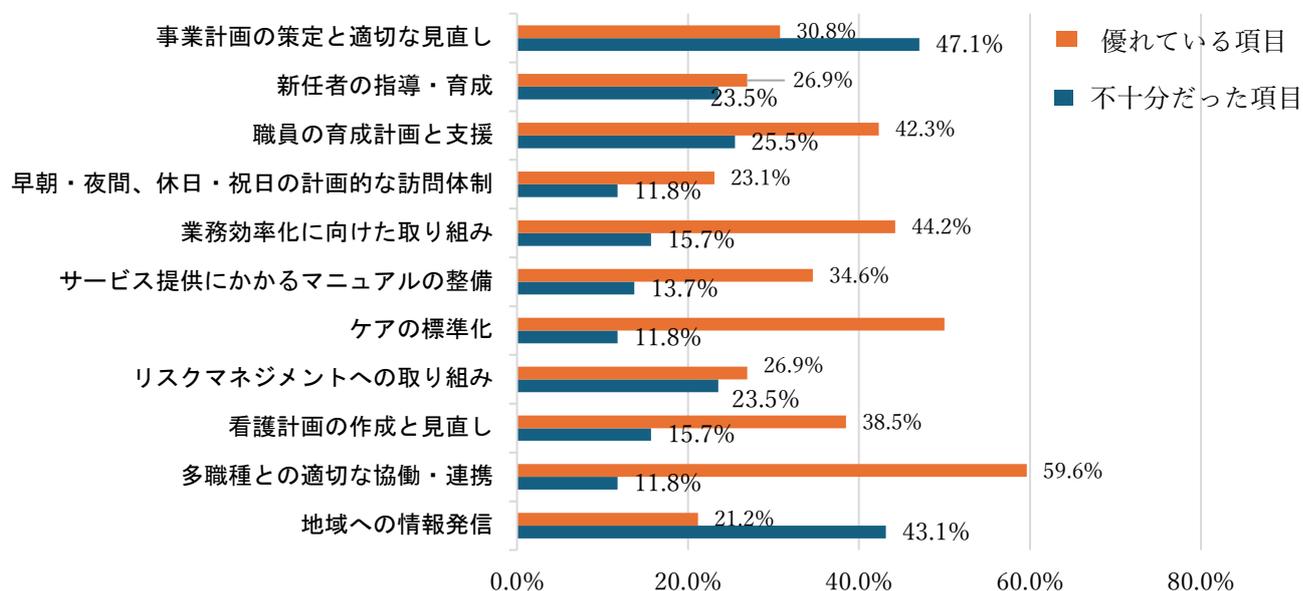


3) 事業所自己評価の実施頻度 (n=53)

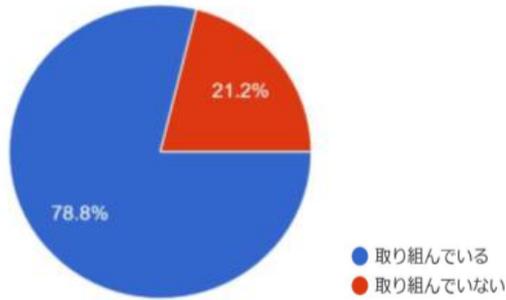
定期的に行っている事業所は 81.1%、その内 93%は毎年実施していた



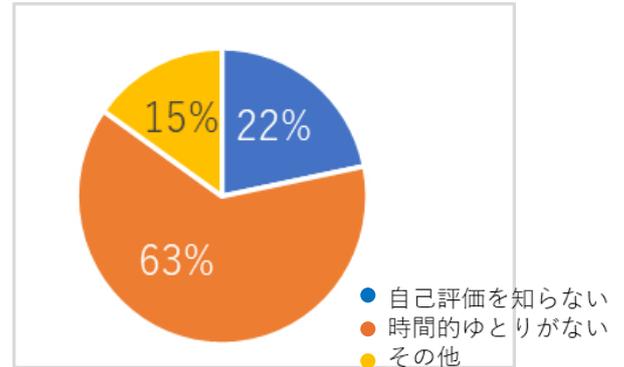
4) 事業所自己評価の結果 (優れている項目・不十分な項目) (複数回答)



5) 自己評価後の業務改善への取組 (n=53)

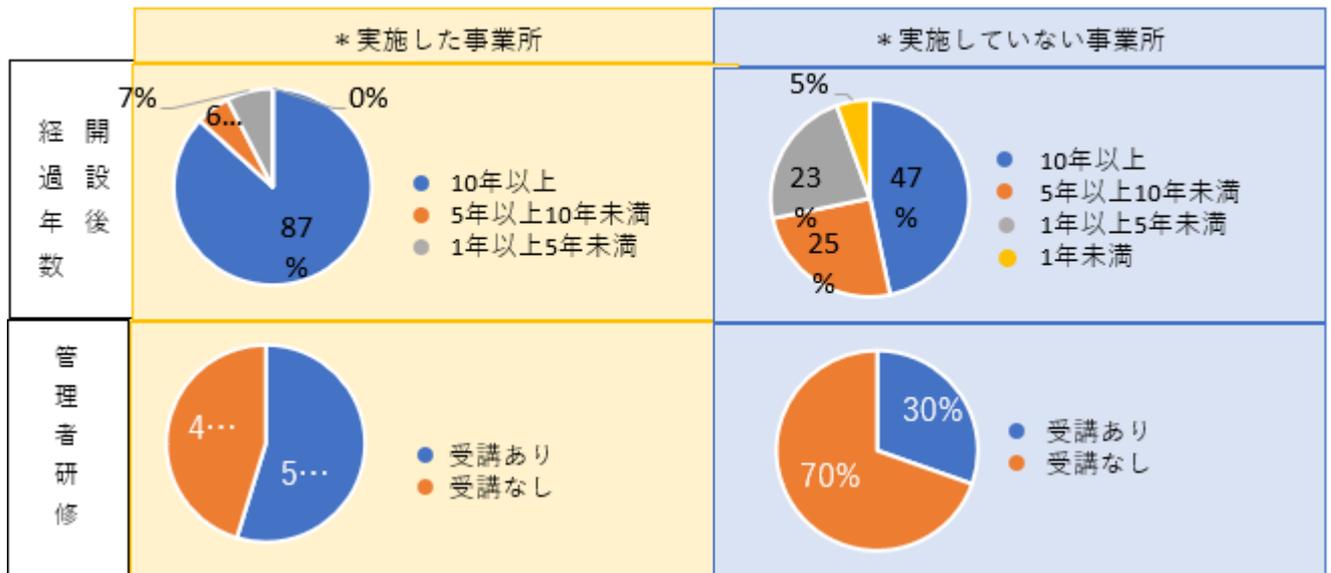


5. 自己評価を行っていない理由



6. 事業所背景と自己評価実施状況

実施した事業所のうち 86.8%を開設から 10 年以上経過した事業所が占めていた。また、実施した事業所の管理者研修受講ありの割合は 55%だったが、実施していない事業所では 30.4%だった。



6. まとめ

事業所の自己評価を行っている事業者は 53 (36.6%) 事業所であった。そのうち 79.2%の事業所が「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」を用いていた。また、実施している事業所の内 81.1%は定期的実施していた。